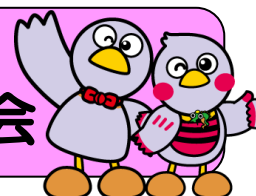


令和3年度 東部地区地域学校協働活動実践発表会



1 目的

「学校応援団」「放課後子供教室」の取組の発表を通して、取組推進のあり方を協議し、各事業の充実を図る。

2 期日・会場

令和4年11月25日(木) 蓮田市総合文化会館ハストピア →限定公開の動画を視聴

3 参加者数

合計 341人

学校・教育委員会：191人 保護者・コーディネーター等：150人

4 実践発表者

- 「学校応援団」について 杉戸町教育委員会・杉戸町立泉小学校
- 「放課後子供教室」について 越谷市子ども家庭部青少年課

5 実践発表

「学校応援団」の取組 杉戸町教育委員会・杉戸町立泉小学校 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進 ～学校運営協議会を核としたネットワークの形成～

<実践の概要>

- 学校運営協議会において、学校の未来像の共有を行う。「どのような児童を育てていきたいか。」「学校への地域の願いは、どのようなものがあるか。」委員全員で共有し、協議会を進める。
- 学校応援団の各団体にコーディネーターを配置し、学校運営協議会や他の団体との連絡調整にあたることで、学校と団体、団体同士の結びつきが強くなり、円滑に活動につなげている。
- 学校応援団の活動を学校運営協議会が認知することで、互いの活動の見える化や相互の活動援助を行えるようになってきた。
- 適切な人財配置、新たな人財発掘、地域の願いを生かす教育活動の計画的な位置づけが課題である。

【指導講評】 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課

- 地域の人的、物的資源には限りがあるため、団体同士のつながりを強め、ネットワークを広げていき、互いにサポートしていくことが重要である。今後も各団体活動の充実と連携推進のためにも、学校運営協議会を充実させていただきたい。
- 古代住居保存会の御協力による「古代祭り」では、団体同士の相互協力によって特色ある教育活動が実現している。持続可能な取組にさせていただきたい。

「放課後子供教室」の取組 越谷市教育委員会子ども家庭部青少年課

越谷市放課後子ども教室における取組

<実践の概要>

- 越谷市を北・中・南ブロックに分け、それぞれのブロックで会議を実施するとともに、各ブロックの代表者が参加する推進委員会を年間3回実施することで、情報共有を図っている。
- 放課後子供教室のプログラムとして、ミラクルアドベンチャー教室、プレーパーク教室、出張講座などを実施している。さらに、社会教育施設、危機管理室職員、障害者団体、地元企業など様々な団体との繋がりを持ち、各教室の特徴を生かした多様な体験活動を行っている。
- 「コロナ禍ならではの」の活動として、フェイスシールドづくりと百人一首の取り手づくりは、感染症対策につながる工作体験として実施している。
- 新規教室開催への課題は、場所の確保とコーディネーター・指導員・ボランティアの確保である。

【指導講評】 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課

- コーディネーターやスタッフだけでは、できる取組には限界がある。様々な団体の協力を得ることで、活動の幅が広がる。例えば、その地域のネットワークの核となる公民館は、サークル団体とつながりがあり、連携が大変有効である。
- 「新・放課後子ども総合プランへの対応」も課題として示唆していただいた。県内の多くの市町村は、放課後子供教室と学童の所管課は異なっており、新・放課後子ども総合プランを推進する上で両課の連携が重要になる。